

## 広島市の下痢症患者由来サルモネラの血清型別(2012年)

### 生 物 科 学 部

#### は じ め に

広島市内で発生した下痢症の状況を把握するため、当所では、分離された菌株について疫学的な解析を続けている。

2012年に分離されたサルモネラ菌株(チフス菌を除く)の血清型別および薬剤感受性試験の結果について、その概要を報告する。

#### 方 法

##### 1 材料

2012年に分離されたサルモネラ 12株を供試した。

##### 2 血清型別

市販のサルモネラ診断用免疫血清(デンカ生研)を用い、常法に従い血清型別を行った。

##### 3 薬剤感受性試験

薬剤感受性試験はSensi-Disc(BD)を用いた1濃度ディスク法で測定し、ABPC, SM, CP, TC, NA, KMの6薬剤についてCLSI法により実施した。

#### 結 果

##### 1 サルモネラの分離状況

過去4年間の分離株数を表1に示した。2009年の7株から2010年は18株、2011年は24株と増加したが、2012年は12株と減少した。

##### 2 血清型別検出状況

血清型別検出状況を表2に示した。分離された12株は9種類の血清型であった。*S. Typhimurium*が3株(25.0%)と最も多かった。

##### 3 薬剤耐性

薬剤耐性パターンを表3に示した。SM, KM, TCの3剤耐性が1株、SM, TCの2剤耐性が2株認められた。3剤耐性株は*S. Typhimurium*、2剤耐性株は*S. Yovokome*, *S. Manhattan*で、残り9株は感受性であった。

#### 謝 辞

この調査にご協力いただきました医療機関および保健所の関係各位に対し、深謝いたします。

表1 年別サルモネラ分離状況

0群	年別分離菌株数			
	2009	2010	2011	2012
04	2	6	5	4
07	0	3	7	4
08	1	1	4	3
09	4	7	8	1
016	0	1	0	0
計	7	18	24	12

表2 血清型別検出状況

血清型	分離菌株数
04 <i>S. Typhimurium</i>	3
<i>S. Stanley</i>	1
07 <i>S. Virchow</i>	2
<i>S. Bareilly</i>	1
<i>S. Montevideo</i>	1
08 <i>S. Yovokome</i>	1
<i>S. Bardo</i>	1
<i>S. Manhattan</i>	1
09 <i>S. Enteritidis</i>	1
計	12

表3 薬剤耐性パターン

耐性パターン	SM/KM/TC	SM/TC	感受性	計
<i>S. Typhimurium</i>	1			1
<i>S. Yovokome</i>		1		1
<i>S. Manhattan</i>		1		1
その他			9	9
計	1	2	9	12